

令和3年度学びあう会

育樹活動と環境教育

NPO新潟県山野草をたずねる会

角山 正博

草木への愛

「草木を愛すれば草木が可愛くなり、可愛ければそれを大事がる。大事がれば、そこで思いやりの心が萌してくる。これを培えば段々発達して遂に慈愛に富んだ人となるであろう。人間に思いやりの心があれば天下は太平で、喧嘩も無ければ戦争も起こるまい。故に私は是非とも草木に愛を持つことをわが国民に奨めたい。」

「牧野富太郎自叙伝」株式会社講談社，2004年.

「ぬかやまいのちの森」における環境教育

1. 環境教育の目的

小鎌を用いた除草、補植、腐葉土と籾殻の散布などの**育樹作業を通じて体を動かし汗を流す**ことによって、植物を育て自然を復元することの**難しさ**と**喜び**を**体験**する。

また、植樹地を中心とする自然観察を行うことによって、森の成り立ちや**自然の仕組み**を**学ぶ**。

2. ぬかやまいのちの森



面積：1,200平方メートル

苗木の種類と本数：潜在自然植生に基づく約120種、1,200本

苗木の配置：「森の仕組み」に基づいて作成した樹木配置図
をもとに植樹

3. 実施する内容と実施方法

(1) 内容

- ・ 小鎌を用いた**除草**
- ・ **補植**
- ・ 籾殻と腐葉土の**散布**
- ・ 植樹地とその周辺の**自然観察**

(2) 実施方法

- ・ 参加者は予めYouTubeの**動画を見て作業の概要を理解**しておく
- ・ 当日は先ず参加者（親子）に対して、**説明書を基**にして森の仕組みや作業の進め方等を**説明**する（説明書は**作業中見る**ことが出来るように耐水紙を使用）
- ・ 参加者をグループに分け、**グループ毎に指導者がついて**作業を実施する
- ・ 一連の作業終了後に植樹地とその周辺の**自然観察**を行う
- ・ 最後に参加者全員で**振り返り**を行う

4. 説明書の作製



(表紙)

「ぬか山いのちの森」のなりたち



造成前の植樹地



重機によるマウンドの造成



植樹の様子



植樹が終わった植樹地

「ふるさとの森」を取り戻すために、開発されたまま荒地になっていた土地を整備して、令和2年9月に「ぬか山いのちの森」が作られました。

約1,200平方メートルの土地に1,200本の苗木が植えられています。

苗木はぬか山本来の樹木（潜在自然植生といいますが）のうちの120種類を、森のしくみに基づいて設計した配置に従って植えられています。

森のしくみと樹木の種類

森は中心にある高木からなる「森林群落構成種群」、それを取り囲む「マント群落構成種群」、森を囲む「ソデ群落構成種群」から構成されています。ぬか山ののちの森には、ぬか山の潜在自然植生を構成する樹木の中から、下記の4つの群落に合う樹木を選んで植えられています。

(主な森林高木：MS) スダジイ、シロダモ、コナラ、ウラジロガシ、シラカシ、コナラ、ブナ、アカガシ、オオヤマザクラ等

(主な森林低木：MS) ヒメアオキ、カヤ、ヤブツバキ、ジャノヒゲ等

(主な森林マント：M) エノキ、クスギ、エゴノキ、ミズナラ、ナラガシワ等

(主なソデ低木：SK) ヤマトツツジ、ガクアジサイ、ウゴツクバネウツギ、ツツジ、マルバシャリンバイ等



まとめ

私たちは人々が自然と共生し、健康で心豊かな潤いのある生活を続けられる持続可能な社会を作るために、ふるさとの木によるふるさとの森づくりを進めてきました。平成12年に悠久山蒼柴の森の植樹を始めてから、平成14年に八方台、平成20年に学びの森、平成21年に信金の森、そして令和2年にぬか山いのちの森の植樹・育樹を行ってきました。

ぬか山いのちの森以外は既に独り立ちができる森に育ちましたが、ぬか山いのちの森はこれからしばらくの間育樹作業を欠かすことができません。

また私たちは、日頃土に触れ汗を流す機会の少ない子供たちが、育樹作業を通じて自然に親しみ自然を理解して欲しいと考えています。今年の育樹作業に参加して下さいました皆様方は是非来年もご参加下さるようお願い申し上げます。

5. 今後の展開

令和3年度の事業として計画した、植樹地の除草や植樹地への腐葉土と籾殻の散布、傷んだ苗木の補植等の育樹作業は予定通り実施することが出来た。

しかし環境教育については、テキストと動画の作成、鎌等の道具類の購入、安全に子供たちが除草や補植作業等を行うためのスタッフの役割分担等の準備を進めたが、コロナ禍のために実施することができなかった。

育樹活動は、植樹後10年程度続く息の長い活動である。今後は**育樹活動と併せて、今年度準備したテキストや動画等を活かした環境教育を行って行きたい**と考えている。